

KIDS SMILE LABO JOURNAL

Vol.27 August
2023
TAKE FREE

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“心に残る余韻、新しく生まれた自信”

やってみたくて形にする

これは KIDS SMILE LABO が大切にしていること

何も子どもの気持ちだけでなく、大人のやってみたくて形にできる

KIDS SMILE LABO はそういうところ

色々な想いや価値観がある中で

誰かの「やってみたくて」という気持ちに、それいいね！と反応が起きる

誰かが応えてくれることって単純に嬉しく、心が満たされていく感覚が身体の中を伝わっていく

そうした経験の積み重ねが一人ひとりの豊かな心を育み、自信という経験値を身に纏わせてくれる

様々な年齢の子どもが共に過ごし、何か一つのことに対してみんなの気持ちが向かっていく中で

その気持ちを形にしていくことや、形になったものをまた分かち合うことは

決して簡単なことではないけれど

初めての夏祭りが終わり、心に残る余韻と新しく生まれた自信は

これからの子どもたちの姿や表情になって表れていくことでしょう

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

01 感触遊びを知ろう！

KIDS SMILE LABO の夏といえば、感触遊び！どんな魅力があるか知っていますか？

02 KIDS SMILE LABO CLASS & KITCHEN NEWS

どんな 8 月を過ごしたのでしょうか。各クラスの様子をご覧ください。

03 第 1 回！ KIDS SMILE LABO 祭り

3 年目の新しい行事！当日の様子を写真でご紹介しています。

kidssmilelabo.com

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO



About the "tactile play"
that we do a lot at KIDS SMILE LABO.

感触遊びを知ろう!

BY TAKASHI MORI

1 感触遊びに欠かせない、 人間が持つ感覚のお話

まず、知っておいていただきたいこととして人間には様々な感覚があります。感覚とは、身体の外から受け取ることができる刺激のことを言います。

皆さんもよくご存知のように、私たちはよく「五感を使って～」という言い方をお伝えする表現の中で使いますが、子どもたちはそれほど「触る、見る、聞く、嗅ぐ、味わう」と言った五感を使って様々なことを感じ、覚えていきます。また、五感に合わせて【前庭覚】と【固有覚】という大事な2つの感覚もあります。身体を無意識にコントロールするためにはとても大事な感覚です。

感触遊びは、子どもたちの成長に欠かすことのできない上記7つの感覚をたくさん刺激することができるのです。

固有覚 自分の身体の位置や動き、力の入れ具合を感じる感覚のこと。受容器は筋肉や関節。
前庭覚 自分の身体の傾きやスピード、回転を感じる感覚のこと。受容器は耳の奥にある耳石器と三半規管。



2 五感も脳も 刺激を受けることで育っていく

感触遊びでは手や足を頻繁に使います。時には、身体全体を使って遊びますが、その中でも手は第二の脳、足は第二の心臓と言われるくらい大切で、子どもたちは手足を介して様々な刺激を敏感に感じとっています。さらさら・どろどろ・ベタベタ・熱い・冷たいなどの感触を感じながら、指先や手の平で握ったり・つまんだり・丸めたり、足の裏で踏んだり・滑ったり・蹴ったり・触れたりすることで、脳は刺激を受け取り発達していきます。そしてその刺激は、五感を使って受け取られます。

初めほどの感覚も未発達な状態ですが、感触遊びを通して外から様々な刺激を与えることで五感が豊かに育っていきます。なので、子どもたちが様々な経験をすることには大きな意味があるのです。



3 試行錯誤で育つ、色々なチカラ

子どもたちは遊びの中で様々な試行錯誤を繰り返します。「色をつけてみたい」「形を変えてみたら面白そう」など、自由に発想して遊びを試そうとする姿があります。感触遊びの中にはこのような試行錯誤の要素がふんだんに盛り込まれており、自分の頭で考えて行動する力を養っていきます。

また、「氷って冷たいね、ひんやりするね」など声をかけた場合に、その言葉を聞いた子どもは「この感触を冷たいって言うのか」と、大人からの言葉がけをもとに、触ったものの感触と言葉の結び付けを図っています。他には、ギョッギョッやぶにぶになど、オノマトペで声をかけてあげることもいいですね。

こうした表現を繰り返すことで、実際に触ったりみたりしなくても、言葉からイメージができるようになっていきます。

さらには、感触遊びを通して様々な色に出会うことで色の概念も育まれていきます。多くの色を見分けるということは、脳がそれだけ様々な刺激を受けて、色を識別できる感覚が育ったということになります。感触遊びという行為の中に、目には見えない多くのことが子どもたちの中で起こっているということを知っていただけたのではないのでしょうか。



4 感触遊びって 食材を使う場合もあるけど、 どうなの?

感触遊びをする際には、食材を感触遊びの素材として扱うこともあります。食事以外のシーンで食材の感触をじっくり楽しむ機会を持つことはなかなか難しいですが、普段口にしている食材に遊びの中で触れてみることで広がる世界はきっと子どもたちにとって刺激的なものとなることでしょう。

こういう遊びをしていると、食べ物で遊ぶのは？という考え方を抱くことがあるかもしれませんが、しかし、食べ物で遊ばない・粗末にしないということは、食事として形のあるものを食べられない状態にすることだと思つので、食事の場面で粗末にするような姿があれば、それは大人がきちんと伝えてあげれば良いだけの話なのだと思います。



5 子どものペースを大切に

感触遊びをする際に、汚れることを嫌がったり肌触りが苦手な不快感を感じるお子さんもいます。こういう感覚は子どもだけではなく、大人にもあるものだと思います。そういう気持ちの時に無理強いされることって、きっとイヤだなと思うはず。感覚の敏感な子どもたちは、より緊張する場面だと思います。

その子の楽しめる方法を探してみたり、大人や周りにいる友達が楽しんで遊んでいる姿を側に見ているうちに、自分のできそうな範囲から試みて、それを繰り返すうちに「できそう」の範囲が広がっていきます。ですから、無理にさせる必要はなく、その子に合わせて少しずつさせてあげることが大切です。

子どもたちは少しずつ経験して、大きくなっていきます。なかなか感触遊びをしない子も、今はそういう時なのだと思うてみてはいかがでしょうか。汚れや直接の感触が苦手という子には、袋に入れて遊ぶ、汚れない感触遊びという選択肢もあるため、大人も臨機応変に対応できるといいですね。



6 ご家庭で遊ぶ場合はここに注意

感触遊びは0歳児から楽しめる遊びなので、誤飲やアレルギーへの注意が必要です。特に、乳児は口の中に物を入れてそのものが何なのかを知ろうとします。口に入れてしまっても安全な素材を使用することは必須として、誤飲を防ぐためにも、遊ぶときにはお子さんに背を向けずに意識したり、素材の大きさに気をつけたりすると良いですね。ただ、先述するように口にして試してみようという実体験を基にした経験や知恵というものが大切なことの一つ。砂を口にして、ベネーと出すように、感触遊びの場合でも、「あ、これは違ったな」と感じたり、意外といけるかも？なんていう子どもの反応を楽しみ、時には見守ってあげてみてはいかがでしょうか。そのためにも、口にしても大丈夫な食用の原料を使ったものがお勧めです。他にも、内容にもよりますが、感触遊びをする際にはお子さんが素材を自由に触ったり広げたりして楽しめるように、汚れても良い服や机や床などを汚さないようにシートを敷いて準備をしておくことをお勧めします。



最後に

ここまでお話しをさせていただいた、感触遊びの世界。子どもに限らず大人でも楽しめる遊びには、子どもの育ちに必要要素がたくさん詰まっていることがわかりました。知らなかった感触に出会い、目の前にあるものがどんなものなのかを知る。自分の身体を使って、経験・体験することは様々な技術が発展する現代だからこそ、より一層大切にしなければならないことなのかもしれません。自分の好きな感触の一つでも見つけられるといいですね。

感触遊び参考資料 <https://iroya.online/column0003/?p=416>

KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

5 4 3 だいち おおぞら みなも Daichi Oozora Minamo



みんなの夏祭り

子どもたちに日本の伝統的な文化に体験してもらいたいという思いから、ラボで夏祭りを計画しました。どんなお店があったら楽しいか子どもたちの意見を聞いた中で、子どもたちが力を出し合って形作ることができるようなお店を伝え、準備が始まりました。

みんなで盆踊りを踊ってみたい、お店の看板作りや、お店で使う物の製作も行いました。

赤と水色のペンを使って塗りながら「夏っぽいイメージなんだ」と作った射的的的「モール」を、目のところにつけたいのとこだわって作ったお面。他にもテープを沢山貼ってみたい、ポンドで素材を重ねているといったのまにか「クレヨン」や「ビザ」のお面もできました。

イメージがあって生まれるもの、こうしたらどうか？とやってみてみたい気持ちのままに作っていったらできたもの。子どもたちの姿に目を向けると、作っている時間のその子の思いが言葉として出てくる瞬間に出会えたり、その子のやってみてみたい気持ちや考えていることに触れることができました。

みんなの思いが詰まった、みんなで作り上げた夏祭りです。

文れいじくん

2 のばな Nobana



のばなの食事タイム

プールから上がると、真っ先に椅子に着席する子どもたち。まだ机に食事が並んでいなくても、座って待つ姿が微笑ましいです。

そんなおいしいん坊のばなさんの最近のお気に入りにはカリカリのメニュー。去年まで揚げ物はオーブン焼きだったこともあり、油でカリッと揚げたチキンカツや春巻き、フリッターは大人気で、何度もおかわりをしています。

一方で野菜は、お皿に残ってしまいがちそれでも、好きなおかずをおかわりすることを励みに頑張ったり、ご飯やお肉と一緒にスプーンに乗せ、挑戦する姿が見られています。夏野菜ではナスとオクラが食べやすい様子で、よく食べていますよ。

また、先日はご家庭からお弁当箱を持参してもらい、給食を詰めてレジャーシートの上で食べました。すると、楽しさが倍増し、食べ進みが一気に良くなりました。

暑いこの時期。食欲が減退してしまいがちですが、ぜひご家庭でも家族団欒で食事の時間が楽しい時間となるよう工夫してみてくださいね。

文あつあつ

1 そよかぜ Soyokaze



ビル探検でみつけた新しい発見と力

この夏、外にでられないことでビル探検をしました。ビルの階段を初めて上る時には、足取りも不安定だったり、手をついて上る姿がありました。2階にある保育園のガラス窓から中にいる保育者に手を振ってみたい、3階ではいつもお部屋から見える電車をより近くで見られることを発見し喜んだり、調理さんが給食を作っているのを覗いたり。5階まで上がった所ではトイレを発見し、子どもの口から「男子トイレ」との思わぬ言葉に笑ってしまう出来事もありました。最上階まで上り、疲れているのかと思いきや、子どもたちからの「もう1回」という言葉に驚きとたくましさを感じました。途中で、友だちが疲れて立ち止まっていると、「頑張れ」と応援の声。また、自分の好きな玩具を手に持ち一緒に頑張る姿も見られ、上りきった時には「おーい」と達成感のある声も響きわたりました。繰り返してビル探検を楽しみ中、手すりを持ち、1歩1歩足を踏みしめ、自分の力で上っていく力強さが見られるようになりました。

暑さがやわらぎ外にでられる時には、また広場まで歩いていけるのが楽しみです。

文さっくん

0 こもれび Komorebi



ラボではじめての夏。何して遊ぶ？

ビニール袋に花やミントの葉と水を入れてセンサーパックを作ってみました。子どもたちはすぐに集まってきて、これはなんだろう？と観察が始まります。つかんで持ち上げてじっと見つめて。何を感じているのだろうか？と大人は子どもたちの表情を見つめています。

握ると水や花の感触。ミントの香り。顔や体にくっつけてひんやりとした感触を体験しました。水遊びでは、冷たさにびっくりしたようではばらくにらめっこ。

つかもうとすると滑る氷と追いかけてっかが始まりました。ようやくつかんで、ペロロ。にんまり笑顔は気に入ったのだと教えてくれました。

プールでの水遊びでは、水の中に入ってからカップに水を入れたり出したり。ボールや水風船も入れて遊んでいます。シャワーヘッドから出てくる水にも興味津々。手を伸ばして水の感触をじっと感じている様子は大好きな子どもの姿です。

ラボでは、安心できる環境の中で心を開放して体感する経験をたくさんしています。

文ふくちゃん

スタートは盆踊りから!!!

♪もったいなばあさん音頭
♪みぎかたあがり音頭 を踊りました。



小さいお友だちも
ノリノリで参加しましたよ!



いらっしやいませ〜
おめんげさんですよ〜



「かきごおりやさん」

幼児さんが作ってくれた
うめ・もも・赤しそシロップ
をかけて食べました!



おまつり

8月29日に KIDS SMILE LABO で初めてとなるお祭りが行われました。
3歳児から5歳児の子どもたちがみんなで考え、作り上げてくれたこの行事。
当日は、賑やかな声と沢山の笑顔が溢れていました。
ぜひその時の様子を写真と一緒にご覧ください。

めった〜!と来たよ!
いっぱいと来たよ!



「まんがすくいやさん」
おにぎりにボールをすくったよ!

「ぽっぴコーンやさん」

最後はみんなのお楽しみポップコーン!
こおばしい香りが園内を包み込んでいました〜



「しゃてきやさん」

ふわふわボール・手裏剣
割りばしでっぼうの子種類!
当たった数、シールのプレゼント!



「おはなしやさん」

紙芝居と
大型絵本を
楽しみました。



CHECK!!

3年目のLABO。なぜ今年、「おまつり」を行うことになったのか。
ぜひもりもりのnoteを読んでみてくださいね。



KIDS SMILE LABO KITCHEN

Vol. 16

＼芯ごと入れて炊く!／

コーンバターしょうゆご飯

とうもろこしは食べて分かるように糖質が多く、野菜の中でも甘味が強いのが特徴です。他にビタミンB群やたんぱく質、食物繊維や鉄分も豊富に含まれ、おやつにもオススメです。今年の夏、LABOの給食で蒸したとうもろこしをカットして提供した時には、芯に身がついたとうもろこしが初めてなのか中々進まない子が多かったのが印象的でした。手軽に使えるコーン缶も良いですが、今回はとうもろこしの芯から出る甘くて美味しい出汁を活かしたとうもろこしご飯のご紹介です。 文やっちゃん



材料 ・米 2合 ・しょうゆ 20g ・バター 10g
・とうもろこし(生) 1本 ・酒 15g



作り方 ①米を研ぎ、炊飯器にセットして醤油、酒を入れる。いつも通りの水加減で目盛まで水を入れる。
②とうもろこしは皮を剥き、包丁を使って芯から身を削ぐようにカットし、身は炊飯器へ入れる。
③とうもろこしの芯は、炊飯器に入るサイズにカットして炊飯器に入れ、炊飯スイッチを押す。
④炊き上がったら芯を取り除き、バターを入れて全体に絡むように混ぜる。
お好みで塩、ブラックペッパーを加える。

KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用している安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。

